

産業構造審議会イノベーション・環境分科会資源循環経済小委員会
設計認定基準ワーキンググループ（第1回）
議事要旨

開催概要

日時：令和6年10月28日（月）9時00分～11時38分

場所：対面・オンライン開催（Teams）

出席者（敬称略、委員は50音順）

山本座長、浅利委員、菊池委員、根村委員、増井委員、三浦委員

議題

1. 座長の選任について
2. プラスチック資源循環促進法における環境配慮設計について
3. 個別製品分野における環境配慮設計の取組について
4. 個別製品分野の設計認定基準（案）について

議事要旨

- ◇ 座長の選任について
設計認定基準ワーキンググループの座長として、山本雅資座長が選任された。
- ◇ プラスチック資源循環促進法における環境配慮設計及び個別製品分野における環境配慮設計の取組について
プラスチック資源循環促進法における環境配慮設計について、資料4を用いて、説明がなされた。
説明を受け、以下議論が行われた。
- プラスチック汚染に関する政府間交渉委員会によって条約が結ばれ、また法律も変わるということが生じた場合は、本ワーキンググループを開催して、何か変更に対応するというようなイメージか。（根村委員）
 - 必要があれば、今後もワーキンググループを開催する。（田中資源循環経済課長）
- 「特に優れた設計」とはどういうものか。（山本座長）
 - 製品分野ごとの基準を考える際には、各分野の10%から20%、業界のトップランナーに値するような基準にできるように検討した。（吉清課長補佐）
- ◇ 個別製品分野の設計認定基準（案）について

個別製品分野の設計認定基準(案)について、資料5から8を用いて、説明がなされた。
説明を受け、以下議論が行われた。

- SKU、PIR、PCR等用語について、一般の方にもわかりやすい形で説明していただきたい。(菊池委員、根村委員)
- LCAの観点から、容器のみではなく、容器を充填する中身も含めて設計認定基準を検討いただきたい。(菊池委員)
- 消費者の行動変容につなげるために、消費者にどういう形で、どのような情報を提供していくのか、検討いただきたい。(浅利委員)
- 家庭用化粧品容器の星2に関する認定基準について、全商品が満たせる基準なので、特に優れた設計認定という観点でもう少し厳しくしてもよいのではないか。(増井委員)
 - 星2は最低限満たしていただく項目として設定しており、特に優れた設計認定という観点では、星3を満たすことで担保できると考えている。(吉清課長補佐)
- 今後ほかの製品分野においても設計認定基準を検討する際には、どういうことに配慮して基準を策定するのか、ガイドライン化していただきたい。(三浦委員)

問合せ先

経済産業省 イノベーション・環境局 GXグループ 資源循環経済課
電話：03-3501-4978